



平成26年10月17日

	観光振興課
担当者	石井、吉田
内線	2645
ダイヤルイン	895-2645

「長崎県観光動向調査」について

本県の平成26年4～6月期における観光動向について、
別添のとおり取りまとめましたので、お知らせいたします。

本県では、観光客数の動向（トレンド）を適宜把握する目的で、年1回公表の
「長崎県観光統計」とは別に、観光動向に関する調査を実施し、3ヵ月毎にその
結果を「長崎県観光動向調査」としてお知らせしております。

調査概要の詳細は別添資料をご参照願います。



長 崎 県 観 光 動 向 調 査 (平成26年4～6月分)

主要指標

平成26年4～6月

	対象施設	延宿泊客数 利用者数	H25-H26比較	
			増減率	増減数
主要宿泊施設	160	1,078千人	+2.7%	+28千人
主要観光施設	27	2,232千人	+1.4%	+30千人

概況

主要宿泊施設の宿泊客数は、大型連休期間中の日並びや天候には恵まれなかったものの、長崎市の夜景が世界新三大夜景認定されて以降、引き続き夜景観光が好調を維持していることや、集客増の続くハウステンボスを中心に佐世保市で宿泊客の増加がみられることなどから、対前年同期比+2.7%となり、平成24年10～12月期から、7四半期連続で増加した。

主要観光施設の利用者数は、花をテーマにしたイベントの奏功などによりハウステンボスの集客が増加したことに加え、九十九島パールシーリゾート、九十九島動植物園の集客が増加したこと、世界遺産候補の軍艦島への上陸者数が増加したことなどから、対前年同期比+1.4%となった。

ブロック別の主な増減要因

【長崎・西彼ブロック】

長崎市の夜景の世界新三大夜景認定以降、夜景観光が好調を維持していることや、東アジアに加え、東南アジアからの外国人観光客が増加したことなどから、4～6月期全体の宿泊客数は対前年同期比+4.6%となった。

【佐世保・西海・東彼・北松ブロック】

集客増の続くハウステンボスを中心に、国内からだけでなく海外からの観光客の増加がみられたことなどから、4～6月期全体の宿泊客数は対前年同期比+5.2%となった。

【平戸・松浦ブロック】

一部宿泊施設においてビジネス客の増加がみられたものの、ツアー客の減少がみられたことなどから、4～6月期全体の宿泊客数は対前年同期比 3.6%となった。

【諫早・大村ブロック】

諫早市で昨年の宿泊客増加の反動がみられたものの、大村市で新規宿泊施設が開業したことや、ビジネス客の増加がみられたことなどから、4～6月期全体の宿泊客数は対前年同期比+0.1%となった。

【島原半島ブロック】

昨年のツアー客や団体客の増加の反動がみられたことなどから、4～6月期全体の宿泊客数は対前年同期比 1.9%となった。

【五島ブロック】

一部宿泊施設において団体客やツアー客の増加がみられたことなどから、4～6月期全体の宿泊客数は対前年同期比+3.1%となった。

【壱岐ブロック】

一部宿泊施設においてツアー客の増加がみられたことなどから、4～6月期全体の宿泊客数は対前年同期比+0.9%となった。

【対馬ブロック】

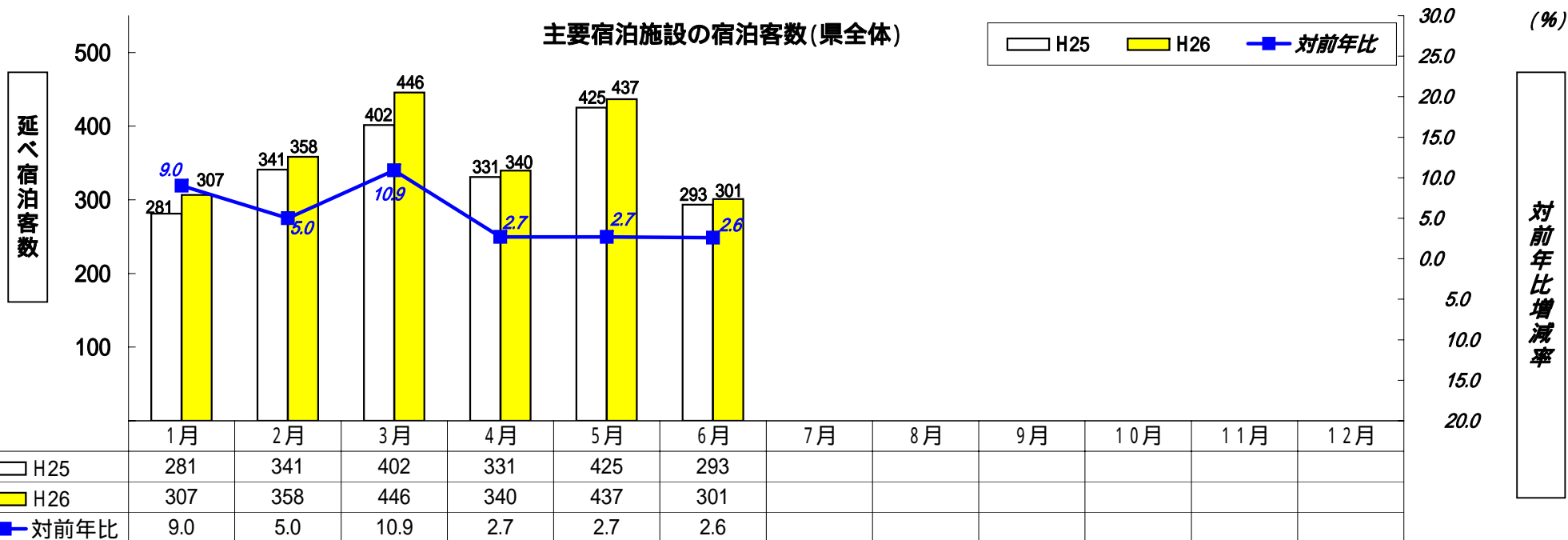
4月には昨年を大きく上回る韓国人の来訪があったものの、5月、6月は韓国で発生した旅客船沈没事故の影響がみられたことなどから、4～6月期全体の宿泊客数は対前年同期比+0.2%にとどまった。

(参考) 外国人宿泊客の動向(ご協力いただいた施設のみのサンプル調査)

旅客船沈没事故の影響もあり韓国からの観光客の減少がみられたものの、台湾や香港、東南アジアからの観光客が増加したことや、ビジネス客が増加したことなどから、外国人宿泊客数は対前年同期比+6.3%となった。

(参考資料)

主要宿泊施設の宿泊客数(県全体)



主要観光施設の利用者数(県全体)

